

会 議 記 録

会 議 名 称	つつじ荘デイサービスセンター事業所運営推進会議
開 催 日 時	令和8年2月20日(金) 午前・ <u>午後</u> 4時45分～午前・ <u>午後</u> 5時20分
出 席 委 員 数	7 人 / 7 人 (委員定数)
欠 席 委 員 名	
事 務 局 職 員 職 氏 名	つつじ荘所長、つつじ荘介護支援専門員 つつじ荘デイサービスセンター生活相談員
その他の出席者名	利用者、利用者家族、飯村地区民生委員、東部地域包括支援センター職員
会 議 の 議 題	<ol style="list-style-type: none">1) 令和7年7月～令和7年12月事業報告について2) 令和8年1月～令和8年6月事業計画について3) 令和8年度事業方針について4) その他
議 事 の 概 要	<ol style="list-style-type: none">1) 所長挨拶<ul style="list-style-type: none">・つつじ荘デイサービスセンター事業に対しての助言や要望をいただき、サービスの質の向上をしていきたい。ご意見をいただければありがたい。2) 各委員紹介3) 議題<ol style="list-style-type: none">①令和7年7月～令和7年12月事業報告について<ul style="list-style-type: none">・令和7年7月～令和7年12月利用状況。利用者数(延人数、平均利用者数)、平均年齢、男女比、介護度別利用率、曜日別利用者数報告。利用者数は令和6年度同時期と比較し、月によって増減が見られるが全体としては減少している。要因としては新型コロナウイルス発生による利用自粛があったことや利用者の入院等により人数への影響があった。要介護3以上の方の割合8%(前年度25%)、特浴槽稼働率一日平均2.6人(前年度0.8人)。・事業報告。1. 季節行事。2. その他の取り組み『二胡慰問』、『体操教室』、地域ケア会議の参加居宅介護支援事業所への訪問活動。②令和8年1月～令和8年6月事業計画について<ul style="list-style-type: none">・主な季節行事、年間を通して行っている取り組み(慰問・ボランティアの受け入れ、居宅介護支援事業所へのPR活動、特殊浴槽を掲載したチラシの配布、施設見学者を対象にした昼食の試食またはテイクアウト、地域交流活動)。③令和8年度事業方針について<ul style="list-style-type: none">・これまで同様、利用者の日常生活の支援とともに、セーフティネットとしての役割を果たすべくより困っている方々の要望に応えられるような取り組みを実施していく。運営推進会議構成員の方々の意見を参考に、利用者増加に繋がる取り組みをしていく。④その他<ul style="list-style-type: none">・質疑応答4) 構成員からの意見交換<ul style="list-style-type: none">・所長

遠慮なくご意見いただけたらと思う。

- ・利用者家族

定員に対して、どのくらい利用者がいるのか？

- ・所長

定員は 18 名。現在の平均利用率は 50%を切っている。職員体制は 18 人定員に対応した人員配置になっているため、手厚い対応の提供ができています。

- ・飯村地区民生委員

1 年間、様々な季節行事が工夫され行われていて、季節感がありメリハリのある生活が出来ている。水戸黄門の劇とあったが、時代劇は受け入れられやすい。音楽慰問では坂本九さんの曲とあったが、坂本九さんの話が映画化されるということでタイムリーでよい。体操教室で転倒予防の体操というのはよい。嚙下体操も食事前だけではなく、行事の時に声を出したり、口を動かしたりと生活の中で意識していけるようになると効果が出ると思う。

- ・所長

つつじ荘デイサービス事業の存在が、地元ではあまり知られていないことが分かったことで、PRを次のステップに進んでいきたい。

- ・東部地域包括支援センター職員

季節行事が楽しそうに見えるが、楽しく参加されていますか？

- ・利用者

楽しんじゃいるわね。

- ・所長

ぜひ、楽しんでいただきたい。良い刺激や気分転換になるとよい。

- ・東部地域包括支援センター職員

地域ケア会議への参加を通じて関係者と繋がり、それを活かして体操教室をデイサービスで実施できたことは、よかったと思う。

前回の会議では、どうやってデイサービスを周知していくのかとあったが、事業所へPRしているとのことで、着実に進んでいる。見学会は今年はやったのか？

- ・所長

今までとは異なる、私たちが足を運ぶPR活動にシフトをした。

- ・利用者家族

PR活動とはどこで、どういう場所でやるのか。一般の人は事業所を選ぶことは難しいと思うので、支援センターへ相談するのではないかな。居宅も含めてPRしてはどうか。

- ・所長

地元にお住まいの利用者が少ないため、様々な交流をしていきたい。施設を知ってもらうことから始めていきたい。事業所に対して利用していただけるような今までとは違うPRをしていきたい。

- ・利用者家族

デイサービス業者が増え、人数が確保できているところはどのような風になっているのか。民生委員に最初に相談する住民も多いことから、民生委員へデイサービスの周知を図るのもよいのではないかな。また、どれぐらいの範囲の人を対象としているのか。

- ・所長

片道 30 分で送迎のできる場所が目安となっている。

・利用者家族

送り迎え等、丁寧にしてもらっているので、おそらく利用中も丁寧に対応してくれていると思って安心している。おかげで親切にやってもらっているので助かっている。

つつじ荘の場所を認知してもらわないとデイサービスに行こうとはならない。デイサービスを選択する際に事業所の表を見せられたとしても何十件もあると自分では決められない。紹介する人が多いと自然と利用につながるのではないか。

・所長

皆様から頂いた感想やご意見を活かしていきたい。いただいたご意見で気が付くこともあるので、今後も貴重なご意見をいただきたい。

・介護支援専門員

本日はありがとうございました。

備	考